

34. 「信頼する心」

2010年11月1日 社会福祉法人 江刺保育園

私たちは目に見えない物は現実の物ではなく、単なる想像の産物にすぎないと思っています。確かに見えないということは想像するということになりませんが、私たちがこの社会の中で生きていく上で、この目に見えないことを感じるということがとても重要な働きをしているのです。日常の何気ない生活は勿論のこと、宗教や芸術、経済、医療、福祉、教育、等すべての分野に作用していると思います。心の感覚はすべて目には見えません。この目に見えないことのなかで最も大きなはたらきをしているのが信頼するという心の感覚です。

私たちが社会の中でお互いに支え合って生きる上で他者を信頼できるという気持ちがなければ、この世の中は争いと暴力だらけの社会になってしまいます。信頼するということをもっと別な言い方をするなら、他者の存在を許し、認めることができるということだと思います。私たちは自分の家族を心から信頼し目に見えないさまざまな事柄を共有しています。ですから家族の中でお互いに、心配したり、喜び合ったりすることができます。信頼するということは安心してお互いを表現し、他者のために自分の時間を使い、他者のために働くことができるということです。信頼し合うことのできるということは、他者の目に見えない心、気持ちを自分の気持ちに同調しながら感じることのできる心の力があるということです。他者の心を許し、同じ気持ちで心を合わせながら、お互いに支え合っていくという心の働きなのです。

私たち人間はこの信じあうことを感じ取る心の感覚を自分たちの文化の中で培ってきたのです。この心の力は親子関係がその基本になっていて、それが家族の中で働き、地域との関係、そして、国とか民族に広がり、すべての人間、すべての命を大切にしなければならないという思いにまで広がることのできるのです。

この心の力は大人から子どもたちに伝えられる力です。子ども時代に大切にされ、多くの交流と楽しさの中で育てられた時、この心の力はさらに強くなります。しかし、この信頼する心の力が働かなくなった時、争いが起き、そして暴力をふるったり、他者との繋がりを排除し孤独に陥ってしまうのだと思います。正常な心の感覚を絶えず持ち続けるように、生きていたいと思います。



ヨーグルトマフィン（5個分）

材料

ホットケーキミックス 100g
卵 1個、
プレーンヨーグルト 50g、
砂糖 大さじ1、
バター25g、
レーズン 15g

作り方

- ① レーズンをぬるま湯にいれ戻す。バターは室温で柔らかくする。
- ② ボウルにバター、砂糖、卵、ケーキミックス、ヨーグルトを入れ混ぜる。
混ぜたらレーズンを入れかき混ぜる。
オーブンは180℃に温めておく。
- ③ マフィンカップに②の生地を7分目くらい入れる。
オーブンで10～15分くらい焼く。

